

1 学校名

| | | | |
|-----|-----------|-----|------|
| 学校名 | 藤岡市立小野中学校 | 校長名 | 吉崎 仁 |
|-----|-----------|-----|------|

2 担当者等

| 職名 | 氏名 | 担当学年及び教科 |
|----|-------|----------|
| 教諭 | 山田 章恵 | 3年英語 |
| 教諭 | 佐藤 真一 | 1年英語 |
| 教諭 | 江口 佳那 | 2年英語 |

3 本校の研究の取組

小野連携型小中一貫校として、小中学校のつながりのある英語教育について研究し、中学校英語担当教師の指導観の転換及び指導力の向上による授業改善に取り組み、英語 4 技能のスキルアップを目指す。具体的な取組は、以下の通りとする。

※下線部は本年度追記

(1) 英語による英語授業の実施

ALT とのティームティーチングでは 9 割、通常授業では 8 割を英語で行い、児童生徒が英語に慣れ親しみ、コミュニケーション能力の素地を育成できるようにする。この手立てとして、小学校で行っているスモールトークで教師同士の会話をモデルトークとして聞かせる。また、スモールトークを教師－教師から教師－生徒、生徒－生徒間のコミュニケーションとして発展させる。

(2) “Show and Tell” による、4 技能を統合した授業づくりの実施

小学校 3 年生から中学校 3 年生までの 7 年間、学期に 1 回程度 “Show and Tell” を実施し、児童生徒が友達に見せたい物を、自分の思いや考えを交えて紹介する活動を積み重ねる。中学年では speaking、listening を中心にコミュニケーションを楽しませ、高学年そして中学校へ進むにつれて、原稿を書かせたり (writing)、お互いに読み合ったり (reading) させるなど、児童生徒の発達段階に応じたカリキュラムを作成し、系統的に英語力の向上を目指す。小中英語協議会を実施し、小学校 3 年生から中学校 3 年生までの各学期での Show and Tell の実施スケジュールを作成する。

(3) “Show and Tell” の充実に向けた「つなぎ教材」の作成と活用

(2) で示したカリキュラムの作成と平行して、“Show and Tell” に有効な単語や表現をまとめたつなぎ教材を作成する。各学年で扱う言語材料や表現を明確にして確実に身に付けさせることにより、段階的な英語力のレベルアップを図る。また、高学年の“Show and Tell” の様子をビデオ等でモデルとして視聴させることにより、学びのイメージをもち、主体的に英語学習に取り組めるようにする。さらに、自らが “Show and Tell” を行っているビデオを視聴することで自己存在感や今年度のパフォーマンスへの取組への意欲を高める。

(4) パフォーマンステストの実施

各学年の発達段階に応じたパフォーマンステストの内容および実施方法等を検討し、発達段階に応じて実施する。小学校 5、6 年生に英語科が導入されることに伴い、小学校 3 年生から中学校 3 年生までを対象とする。義務教育課 ALT 等を講師に招き、英語担当教員を対象としたパフォーマンステストに係る研修会を実施し、指導力(評価力)の向上を図る。パフォーマンステストの実施後にはビデオを視聴し、達成感を得るとともに、新しい言語材料への必要感をもつようにする。

(5) Greetings から Interaction につなげる帯活動の実施

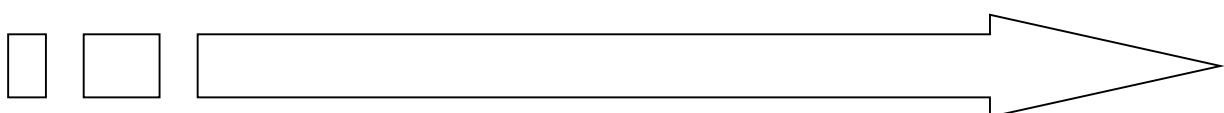
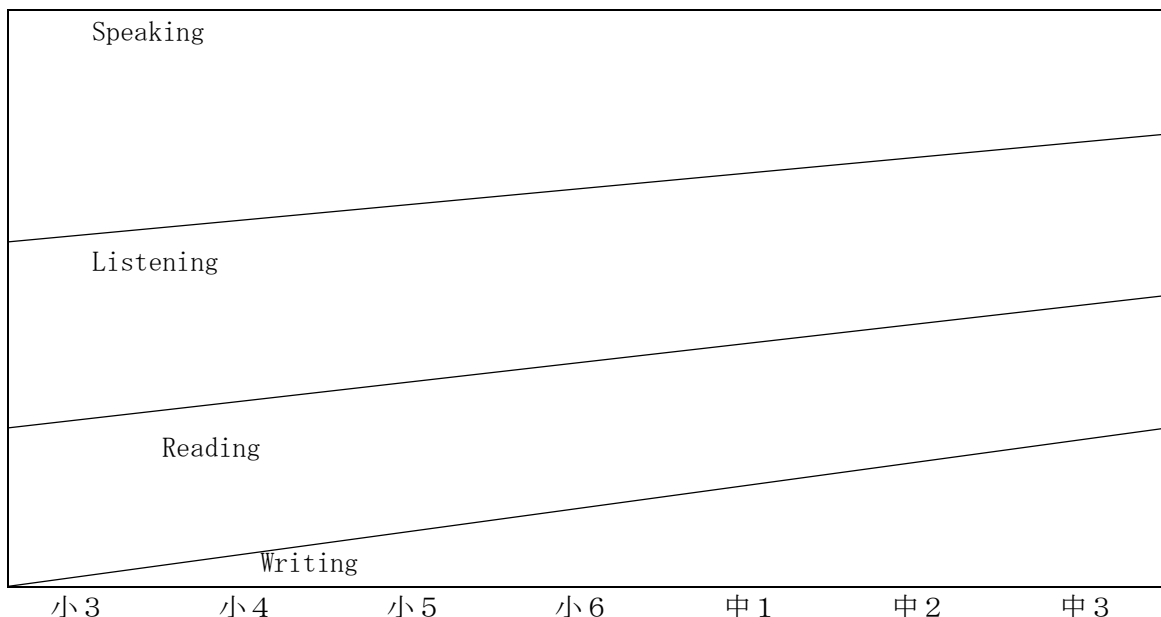
毎時間授業の最初にあいさつ等を交わすが、その内容が児童生徒の発達段階に応じたものとなるように、指導計画を作成する。小学校低学年では、あいさつ、日付、曜日、天候等を取り上げるが、中・高学年及び中学校に進むに従って、朝食で食べたもの、先週末の出来事、好きな本等について、コミュニケーションできるようにしていく。文法として中学校では未習であっても、小学校でふれたものについては積極的に活用することで学びのスパイラルをつなげていく。また、意図的に教科書の本文の内容を盛り込むことで帯び活動とメインの学習活動がつながるようにする。

4 本校の研究の計画

| | | |
|-------------------|--|-------------------------|
| 研究1年次 (平成30年度) | <ul style="list-style-type: none"> ○研究体制の確立 ○4技能を統合した授業づくりの実施 ○“Show and Tell”の活動を生かしたカリキュラムの作成 ○「つなぎ教材」の作成 ○パフォーマンステストの実施 | ○研究授業発表会 (中学校) |
| 研究2年次 (令和元年度) | <ul style="list-style-type: none"> ○4技能を統合した授業づくりの検証・改善 ○“Show and Tell”の活動を生かしたカリキュラムの実践・改善 ○「つなぎ教材」の活用・改善 ○小中によるパフォーマンステストの実施 ○教科書本文・本文の内容の活用 | ○研究授業発表会 |
| 研究3年次 (令和2年度) | <ul style="list-style-type: none"> ○4技能を統合した授業モデルの確立 ○“Show and Tell”の活動を生かしたカリキュラムの確立 ○「つなぎ教材」の研究・開発 ○パフォーマンステストの研究 | ○「英語4技能スキルアップ事業」研究成果発表会 |

(イメージ)

～教師も生徒もオールイングリッシュの授業を目指して～



Project③ 自分の町を紹介しよう！～自分の住む藤岡市について

Mark 先生に紹介しよう！～

グループで Mark 先生に藤岡市を紹介しよう！

①紹介したい場所、おすすめの場所を考えてみよう。

②あなたの町で紹介したい場所について、グループで話し合おう。(日本語メモ)

| 名前 | 場所 | どんな場所か・何があるか・何ができるか |
|----|----|---------------------|
| | | |
| | | |
| | | |

③自分のグループで、Mark 先生に紹介したい場所についての紹介文を書こう。

(英語メモ)

| 場所 | どんな場所か・何があるか・何ができるか |
|----|---------------------|
| | |

紹介文を書いてみよう!

Class Number Name _____

Member:

☆自分の書いてきた文を用いて、自分の好きなものについての紹介文を書こう。

| | |
|---|--|
| Opening あいさつ トピック | Hello. We're going to talk about our favorite place in Fujioka city. Look at this. This is _____ |
| Body ・おすすめの場所 ・おすすめの理由 ・何がおススメか ・いつ行くのがおススメか ・どうやって行くのかなど | ① _____ |
| | ② _____ |
| | ③ _____ |
| | ④ _____ |
| | ⑤ _____ |
| | ⑥ _____ |
| | ⑦ _____ |
| | ⑧ _____ |
| | ⑨ _____ |
| | ⑩ _____ |
| | ⑪ _____ |
| Closing ・まとめ ・あいさつ | ⑫ _____ |

Thank you for listening.

自分のグループの発表を振り返って

(よかったところ、頑張ったところ、もっとこうしたらよかったところなど書いてみよう。)

自己評価

事前準備 A・B・C・D 英語らしさ A・B・C・D

英語を話す姿勢 A・B・C・D